

令和3年度第5回社会教育委員の会議

令和3年10月18日(月)

午前10時00分開会

開催日時	令和3年10月18日	開会10時00分 閉会11時38分	
場 所	小金井市役所第二庁舎8階801会議室		
出席委員	議 長 柴田彩千子 副 議 長 福井 高雄 委 員 黒木 智道 委 員 石原 芳 委 員 富田謙次郎	委 員 諏訪 啓二郎 委 員 金澤 大恵 委 員 北澤 隆司 委 員 森本 榮子 委 員 鈴木 哲也	
説明のため出席した者の職氏名	教育長 大熊 雅士 生涯学習部長 藤本 裕 生涯学習課長 関 次郎 生涯学習部オリンピック・パラリンピック兼スポーツ振興担当課長 内田 雄介	図書館長 菊池 幸子 公民館長 鈴木 遵矢	
事務局	生涯学習係長 小堀久美子		
傍聴者人数	1名		

日程	議 題	
第1	協 議 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 正副議長の互選について (2) 社会教育委員の会議について (3) 小委員会委員の選出について (4) 図書館協議会への出向委員の選任について (5) 令和3年度東京都市町村社会教育連絡協議会第5ブロック研修会について (6) 第30期小金井市社会教育委員の会議のまとめ (7) 会議録の承認について (8) その他
第2	報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第52回関東甲信越静社会教育研究大会の参加について (2) 第36期公民館運営審議会委員の委嘱について (3) その他

関生涯学習課長 皆さん、おはようございます。

時間になりましたので、社会教育委員の会議を開催させていただきます。

私は、事務局であります生涯学習課長の関と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

申し訳ございませんが、この後は着座にて進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。

初めに、第31期の最初ということもございますので、辞令の交付から始めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

教育長から、順番に委員さんのところを回らせていただきますので、立ってその場でお受けいただければと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思っております。

それでは、石原委員から順番に交付させていただきます。

大熊教育長 委嘱状。石原芳様。小金井市社会教育委員を委嘱する。期間、令和3年9月9日から令和5年9月8日まで。令和3年9月9日、小金井市教育委員会。どうぞよろしくお願いいたします。

石原委員 よろしく願いいたします。

大熊教育長 委嘱状。金澤大恵様。以下同文ですので省略させていただきます。よろしく願いいたします。

金澤委員 かしこまりました。ありがとうございます。

大熊教育長 委嘱状。北澤隆司様。以下同文です。よろしく願いいたします。

北澤委員 よろしく願いします。

大熊教育長 委嘱状。黒木智道様。以下同文です。よろしく願いいたします。

黒木委員 よろしく願いいたします。

大熊教育長 委嘱状。柴田彩千子様。以下同文です。よろしく願いいたします。

柴田委員 よろしく願いいたします。

大熊教育長 委嘱状。鈴木哲也様。以下同文です。よろしくお願いいたします。

鈴木委員 ありがとうございます。

大熊教育長 委嘱状。諏訪啓二郎様。よろしくお願いいたします。

諏訪委員 よろしく願いいたします。

大熊教育長 委嘱状。富田謙次郎様。以下同文です。よろしくお願いいたします。

富田委員 よろしく願いいたします。

大熊教育長 委嘱状。福井高雄様。以下同文です。よろしくお願いいたします。

福井委員 よろしく願いいたします。

大熊教育長 委嘱状。森本榮子様。以下同文です。よろしくお願いいたします。

森本委員 よろしく願いいたします。

関生涯学習課長 続きまして、初回ということで、教育長から皆様に御挨拶をいただきたい
と思います。それでは教育長、よろしくお願いいたします。

大熊教育長 改めまして、おはようございます。

第31期小金井市社会教育委員をお引受けいただきまして、誠にありがとうございました。

この社会教育委員は、小金井市の生涯学習を推進していく一番重要な会議でございます。小金井市の全ての人たち、全ての子どもたち、全ての人々の幸せを考えていただく重要な会議となります。その点、様々なこと
でお知恵を拝借しなければならないと考えております。その使命を鑑みまして、どうかよろしく願い申し上げます。

前30期の皆様におかれましては、第3次生涯学習推進計画の評価、そしてこの第4次小金井市生涯学習推進計画を策定していただきまして、誠にありがとうございました。小金井市の社会教育・生涯学習の諸課題につ

いて、この策定に当たりまして御熱心に御議論いただき、貴重な意見をいただき、このような形で形にすることができました。

先ほども申しましたように、これは小金井市全ての人々のための、生涯にわたる幸せを確保するためのものでございました。

令和3年度から、推進計画では、「学びでつながる笑顔のまち小金井～さあ、動き出そう！人生100年時代～」を基本理念としており、これからの人生100年時代や超スマート社会に向けて社会が大きな転換点を迎える中であっても、生涯学習の重要性をしっかりと位置づけ、推進していける計画になっているかと考えております。本当にありがとうございました。

しかしながら、1つだけ懸念点がございまして、これをつくっていた時期が、いわゆるコロナの前でございました。今改めてウイズコロナ、そしてアフターコロナの時代になったときに、今このコロナと言われるものは、社会の人々を分断してしまいました。

先日、学校に行ったんですけれども、学校の授業を見てみましたら、それこそ昭和の時代の授業に戻っておりました。理由は簡単なんです。隣同士で話し合いをすることをやめてくれと言い続けていたからです。今もあまりやってほしくないんですけれども、そういう授業は昭和の時代、よくありました。先生が一方的にしゃべって、子どもたちがそれを聞くと。しかし、コロナが終わったら、もう一度、子どもたち同士の豊かな話し合いであるとか議論とかを取り戻さなければならぬんです。その意味では、先日の校長会で大きくかじを切る必要があるという形で示させていただきました。

しかしながら、ここが問題なんです。効率的に授業を進めるという意味では、先生が説明するほうが楽なんです。実はそういうことと同じことが社会教育の中でも起きているのではないかと思うんです。子どもたちを集めないでイベントを中止にしまって、もう一度集めるとなると、そのノウハウがどこかに行ってしまうたり、何であんなことをやっていたんだろう、やらなくても大丈夫だったよねということが、実際、多くの地域で散見されます。つまり、もう一度復活させるより、このまま中止にしていたほうが楽というところもあるのではないのでしょうか。そのことは僕はよく分かりません。しかし、学校の授業を見てみると、実はそういうことが多く見られるということだけは確かです。

社会教育に造詣の深い皆様方において、もう一度今の視点で、今の生涯学習、社会教育の在り方を見ていただいて、本当に全ての市民のために、今の社会教育が向かう方向性がよい方向になっているかどうかを見極めて、しっかりと指針を示していただきたいなと思っているところです。

そういう意味では、小金井市生涯学習推進計画の目標としてこの計画はよくできていると僕は思っておりますが、この計画を推進するためにどのように取り組んだらいいか。つまり、子どもを参画させるために、大人はどのような立場で関わっていったらいいか。今までの関わりだけではなく、絆が1回切れてしまったときに、改めて魅力的な一つ一つのイベントをつくらなければいけないときに、さあおいでと言っているだけでは、なかなか子どもたちは集まってこないのではないかなと思うんです。その辺、どのようにしたらいいかというのも皆さんと一緒に考えながら、新しい生涯学習を推進していくことが必要なのではないかな。そんなことも議論の1つに入れていただいて、全ての市民の幸せを保障する、学びでつながる笑顔のまち小金井が出来上がるように、どのようにしていったらいいのかということも議論をしていただきたいと思います。

そこで1つだけ方向性として考えられるのは、今、OECDのEducation 2030というところでいろいろ言われていて、2030年までに全ての人たちを幸せにする、ウェルビーイングを保障しようというときに何が大事かといったら、一人一人のエージェンシーであると言っています。エージェンシーというのは、困難なことにも立ち向かい、仲間とともに話し合っ、最終的には折り合いをつけながら一歩進む、そういう意味でございますが、そういうときに大人の立場と子どもの立場が違って、新しい関わりをつくっていく必要があるのではないかなと思っております。

今後もウィズコロナという状況が続きますので、すぐに何かをするということではないんですが、来るべきアフターコロナの時代に、すぐに新しい生涯学習を始められるように、今から少しずつ準備をしていただければと考えております。

社会教育委員の会議では、皆様方の様々なお立場の、忌憚のない御意見をいただいて、小金井市の社会教育・生涯学習の推進を図ってまいりたいと考えておりますので、それぞれのお立場を生かして、小金井の豊かな未来をつくるための指針を示していただければと考えているところでございます。

この内容は、今までに取り組んでいない内容であると思っております。今までの流れと違う流れをつくらなければならないと思っております。教育というと、何分にも失敗が許されないということでありましたけれども、新しい道を進むときには、行きつ戻りつするというのも実は大切なんじゃないかなと思っております。常に議論をしながらお試しでやってみる。

そして結果を確かめて、さらによいものにしていくという関わりも必要なのではないかと考えますので、どうぞ忌憚のない御意見とともに、まず動いてみて確かめるというような施策も行っていただければと考えておりますので、責任は教育委員会で取りますので、お任せください。そこまで取ってくれと僕は言いませんので、ここで言わせていただきましたので、お試しで結構でございますから進めていただければと思いますので、そうですね、責任は僕が取りますので、どうぞよろしく願いいたします。

改めて、これまでの社会教育と新しい教育を進めなきゃいけないということを肝に銘じていただいて、忌憚のない御意見をいただきながら会を進めていただきたいと思います。どうかよろしく願いいたします。

関生涯学習課長 ありがとうございます。教育長は他の公務がございますので、ここで退席させていただきます。

大熊教育長 すみません。いろいろなことを申し上げましたが、また、何かありましたら御意見をいただいて進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。失礼いたします。

関生涯学習課長 それでは、議長の選任の前に、第1回ということもございますので、それぞれ委員さんの自己紹介をお願いしたいと思います。

先ほど委嘱状を交付させていただいた順番で、自己紹介は簡単で結構でございますので、お願いしたいと思います。

それでは石原委員から順番に、着座のままで結構でございます。

石原委員 石原と申します。小金井市立小中学校PTA連合会から来ております。現在、小金井市の南中学校の会長をさせていただいております。今期で3期になりますので、今期が多分最後になると思っております。1期、2期でやってきたことを生かして、また3期につなげていければなと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

金澤委員 金澤大恵と申します。初めまして。よろしく願いいたします。このような席に来るのは初めてなので、ちょっと緊張しておりますが、11年間所属しております小金井市文化連盟から御推薦いただき、こちらに参りました。

私自身としましては、小金井市出身で前職は東京農工大学の学長秘書を

しておりました。現在は、主人の会社で洋菓子経営を、自分の会社では翻訳や広告宣伝業をさせていただいております。精一杯がんばります。よろしくお願いいたします。

北澤委員

北澤隆司と申します。初めまして。よろしくお願いいたします。

私は小金井市出身で、子どもも小金井で育てました。子供は高校生になりましたが、この会議を通して何かお役に立てればと思っております。

また、所属団体として、小金井市登録手話通訳者連絡会から参りましたので、そちらの、聴覚障害だけではなく、全ての障害の方に対する配慮等々、そういった面もお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

黒木委員

緑小学校長、黒木と申します。小金井市立小中学校長会から参加しております。よろしくお願いいたします。

学校では2日前、土曜日に、規模は縮小しましたが運動会を実施して、保護者の皆様や地域の方々に、短い時間ですが、子供たちの成果を見せることができました。

子供たちにとっては、誰かが見ていてくれるということが励みになるし、いい意味での緊張感をもつことができます。この地域の力というのが、結果的には子供たちの自己肯定感を高めていくことにつながると感じています。教育長が先ほど、「笑顔のまち小金井」とお話されましたが、コロナ禍の中で、子供たちの笑顔のためという視点でも委員の皆様と一緒に考えて参りたいと思います。よろしくお願いいたします。

柴田委員

柴田彩千子と申します。よろしくお願いいたします。

日頃は東京学芸大学に勤めておまして、専門は生涯学習、社会教育学というところです。

特に、学校と地域の連携というところを今研究テーマとしておまして、この社会教育委員の会議では、2期前に地域学校協働活動における小金井での推進施策というものを皆さんと一緒に提言をしまして、今期はそちらを具体的に前に進めるような取組などを皆さんと一緒に行えたらいいなという考えを持っております。どうぞよろしくお願いいたします。

鈴木委員

鈴木哲也です。貫井南町に住んでいます。この春、高校生になった長男と、下に小学校5年生の娘がいます。昨年、明日の小金井教育プランの検討

委員をやらせていただいて、プラン1からプラン3までの策定に関わらせていただきました。

基本方針4というのは生涯学習分野ということで議論から外れていたのですが、ちょっと気になって調べてみると、生涯学習が扱う社会教育って、学校教育以外の全ての学びということになっていて、それをちょっと自分なりに考えたりしていると、子育てをしているといろいろなことがあって、パパママ以外にもいろいろな人と知り合って、地域の話にも関わりが出てくるんです。

それはどんなことかというと、保育園の連絡ノートの話から、介護認定の話までいろいろ出てくるんですけれども、そんな地域の話とか、自分の今までの経験ですね、そういったものも生かしながら議論に参加したいと思います。

今日が初日でまだ何も分からないんですけれども、さっき教育長がおっしゃっていましたが、失敗の多い人生ですので、上手にこの会議では失敗しながら、いろいろな勉強をさせていただきたいと思っています。どうぞよろしくをお願いします。

諏訪委員

諏訪啓二郎と申します。NPO法人シニアSOHO小金井の代表をしています。

この法人で、毎年、地域参加講座というのを市が主催されていますが、この法人でその企画運営をお手伝いしています。ただ、昨年度はコロナの影響で、延期からさらに中止ということで、開催できませんでした。

今年度も今のところ未定ということで、講座の目的は高齢者の生涯教育のお手伝いをするということなのですが、今年度も現在未定ということで、残念ながらこのところお役に立っていません。ただ、引き続きこの会議等を通していろいろできることをやりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

富田委員

富田謙次郎と申します。今期で2期目になります。公益財団法人小金井市体育協会に所属しております。

体には似合いませんけれども、ダンス連盟に入っております。ダンスだけじゃないんですけども、体を通して、運動を通して、みんなを幸せにしてつながりができればいいなと考えております。今期もよろしくお願いたします。

福井委員

福井高雄と申します。

社会教育委員は今期3期目ということで、公募市民ということで参加しております。

私自身、小金井市在住50年を過ぎまして、52年目ということで、前原町に在住しております。

ここ10年弱ぐらい、行政及び地域の活動ということで、地域コミュニティーを中心に、地域の方と協力しながら運営させていただいているのと、行政つながりでは、公民館の企画実行委員を6年、その後、小金井市の審議会、社会教育委員会ということで、3つほど経験しているということで、現在、市民の声を反映させようと務めております。福井高雄です。よろしくお願いいたします。

森本委員

森本榮子と申します。社会教育委員として2期目になります。公募で参加しております。

前回の委員の期間中に、生涯学習推進計画の策定に関わらせていただきまして、大変勉強になりました。先ほど大熊教育長がおっしゃいましたように、この推進計画は、小金井市民が生涯幸せな生活を送ることができるように、人生の節目節目の状況に応じて最適な生涯学習のプランの選択に役立てていただくものですから、広く周知されることが、とても大事だと思います。

そのために、学習情報を具体的に提供できるシステムを考えると、小金井市民が気軽に相談でき、参加できる体制を作ることが必要であるとお思います。それに対して社会教育委員は積極的にその役割を担うことが求められると思います。

皆様の御指導をいただきながら、今期も頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

関生涯学習課長 どうもありがとうございました。

それでは、事務局の自己紹介をさせていただきたいと思っております。生涯学習部長の藤本から、まず御挨拶いたします。

藤本生涯学習部長 生涯学習部長の藤本です。どうぞよろしくお願いいたします。

これからの31期の2年間、小金井市の社会教育・生涯学習推進のために、どうぞよろしくお願いいたします。

内田生涯学習部オリンピック・パラリンピック兼スポーツ振興担当課長 オリンピック・パラリンピック兼スポーツ振興担当課長の内田と申します。

オリンピック・パラリンピックは終わったんですけれども、スポーツ分野という点ではまだまだ整理しなければいけないような課題がたくさんございます。今期、今年の後半でスポーツ振興審議会というものを立ち上げたいと思っておりますので、またそれとは別で、生涯学習という観点から皆様方にご協力いただくことが出てくるかと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

菊池図書館長 図書館長の菊池と申します。どうぞよろしく願いいたします。

図書館では今、タイトルのにはまだ仮称ですけれども、中長期計画というものを、今年1年かけて策定しているところでございます。社会教育委員の皆様からも1名、おいでいただきまして、図書館協議会にもお加わりいただいて、御議論いただくこととなりますので、どうぞよろしく願いいたします。

小堀生涯学習係長 生涯学習課生涯学習係長の小堀と申します。よろしく願いいたします。

社会教育委員の会議の事務局を担当しております。皆さまにいろいろ教えていただくことがありますけれども、どうぞよろしく願いいたします。

関生涯学習課長 このほか、本日は欠席させていただいておりますが、公民館長の鈴木がおりますので、皆様に御紹介いたします。

以上、事務局はこのような布陣でございます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

それでは、ここから部長に座長をお願いして会議を進めたいと思いますので、部長、よろしく願いいたします。

藤本生涯学習部長 それでは、議長が選出されるまでの間、私が仮の議長を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。

それでは、議事に入ります前に、議事録の作成方法について確認をさせていただきたいと思います。

市の会議につきましては、小金井市市民参加条例第6条の規定により、原則公開となっております。また同条、条例施行規則第5条には、会議録の作成方法として、全文記録、発言者の発言内容ごとの要点記録、会議内容

の要点記録という3つの中から選択することと規定されているところです。

本社会教育委員の会議につきましては、これまで全文記録で会議録を作成してございます。事務局としましては、引き続き全文記録で作成したいと考えておりますが、御議論等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。全文記録ということで、これまでと同じような形の会議の作成ということです。

(「異議なし」の声あり)

藤本生涯学習部長 分かりました。それでは、御異議ないということでございますので、そのようにさせていただきます。

なお、議事録作成の都合上、御発言の前にお名前をおっしゃっていただいてから発言をお願いしたいと思います。

それでは、まず1番の協議事項、正副議長の互選についてです。

初めに議長の互選を行いたいと思います。

議長につきましては、社会教育委員の会議規則第2条の規定によりまして、委員の互選によって定めるものとされております。指名推薦の方法で行いたいと思っておりますが、これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

藤本生涯学習部長 御異議なしと認めます。

それでは、どなたか御推薦いただけますでしょうか。

富田委員。

富田委員 柴田先生にお願いできませんでしょうか。

柴田委員 はい、承知しました。

藤本生涯学習部長 そのほかございますか。

指名推薦ということで、ただいま富田委員から柴田委員を御推薦いただきました。これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

藤本生涯学習部長 では、これより先の議事進行につきましては、柴田委員にお願いしたいと思います。

では柴田委員、申し訳ございませんが、議長席へお願いいたします。私の職務につきましてはこれで終了させていただきます。ありがとうございます。よろしくをお願いいたします。

柴田議長 ただいま議長に拝命されました柴田と申します。改めましてよろしくをお願いいたします。

では、早速、次に副議長の互選を行いたいと思います。副議長につきましても、社会教育委員の会議規則第2条の規定により、議員の互選によって定めるとされているということだそうです。どなたか立候補、または御推薦などありますでしょうか。よろしくをお願いいたします。

森本委員、お願いします。

森本委員 福井委員を推薦いたします。

今まで2年間御一緒して、ぜひ副議長をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

柴田議長 ありがとうございます。

ほかに御推薦ありますでしょうか。

ただいま森本委員から、福井委員を御推薦いただきました。これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

柴田議長 ありがとうございます。

では、副議長は福井委員にお願いしたいと思います。

福井委員 はい、分かりました。

柴田議長 よろしくをお願いいたします。

では、ただいま任命されました私と福井委員から、一言ずつ挨拶を述べたいと思います。

私はもう4期目になりまして、今までの流れを把握しておりますので、そちらを踏まえて、特に前期、30期に、生涯学習の推進計画を皆様と一緒に

に策定してまいりましたけれども、先ほど教育長もおっしゃっていたとおり、推進計画というものは、きれいに計画をまとめるというところを第1目的にして取り組んできましたので、それを具体的に、どのように実践に落とし込んでいくのかという方策を講じるところに今期の大きな目標があるのではないかと考えております。

生涯学習と社会教育というと、あらゆる世代の学びを扱う分野で、子どもと大人が学び合う小金井市というところで、小金井は市民力がとても高い地域ですので、この市民力を生かした社会教育というものを皆様と一緒に考えていけたらと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

福井副議長

福井です。私、今期3期目ということで、2期の間、いろいろ小金井市の社会教育委員の会議開催年8回、小委員会が年4回ということ以外に、社会教育委員で近隣6市の都市社連協第5ブロックというものがございまして、こちらのほうもほぼ2年間、全ての交流会、研修会等に参加させていただいて、また、親睦会ということで、他市の同じ社会教育委員の方と意見交換ということで、我々の小金井市が持っていないような組織もありますし、いろいろな取組方を見せていただいて、その後報告ということをしっかりさせていただくということを継続していきたいと思っております。また、できましたら、皆さんも、ブロック大会、研修会、交流会等に参加していただいて、他市との比較で小金井市に再び発展的な意見を述べていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

柴田議長

ありがとうございました。

それでは議事に沿って進めてまいりたいと思っております。

次は議題の2で、社会教育委員の会議について、事務局より御説明お願いいたします。

小堀生涯学習係長 説明の前に、本日の資料を確認させていただきます。

まず最初に本日の会議の議題について、資料1、小金井市社会教育委員名簿(第31期)、資料2、小金井市社会教育委員の会議について、資料3、小金井市社会教育委員の設置に関する条例、資料4、小金井市社会教育委員会議規則、資料5、小金井市図書館協議会条例、資料6、令和3年度東京都市町村社会教育連絡協議会第5ブロック研究会の開催について、資料7、第30期小金井市社会教育委員の会議のまとめ、資料8、令和3年度第52回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会開催要項、資料9、小金井市

公民館運営審議会委員名簿（第36期）、そして令和3年度第4回社会教育委員の会議会議録になります。

そちらが本日の資料で、他に委員の方のみにお配りしたものとして、小金井市の図書館令和2年度版、月刊こうみかんナンバー521、522、とうきょうの地域教育～豊かな出会いと学びを～、社教情報ナンバー85、コミュニティ・スクール研究大会in三鷹、また、新任の3人の委員の方には、第4次小金井市生涯学習推進計画及びその概要版を封筒の中に入れております。御確認ください。

それでは続いて、社会教育委員の会議について御説明いたします。

まず資料1を御覧いただきまして、社会教育委員の会議は各学校の長1名、社会教育団体から5名、学識経験者2名、公募市民3名の計10名の委員の方で構成されております。今期は、30期から継続された委員の方が7名、新任の委員の方が3名となっております。

続いて資料2を御覧ください。

表面の1と2には、社会教育委員の職務と身分が記載されております。

また3のには会議について記載しておりまして、本日行われているこの会議を本会議と呼びますが、本会議を年間8回開催しております。今年度については既に4回開催済みですので、本日の会議が第5回となっております。

8回行う会議の中には生涯学習関連の協議会、この社会教育委員の会議と、公民館運営審議会、そして図書館協議会の三者が合同で開催する三者合同会議、また、市外の自治体等の研修に行く管外視察研修も含まれております。

4の東京都市町村社会教育委員連絡協議会についてです。こちらは括弧書きで都市社連協と書いてあるんですけども、それが略称になっておりまして、都市社連協につきましては多摩地域の26市、そして瑞穂町、奥多摩町、日の出町の3つの町社会教育委員で構成されております。協議会の理事は各市社会教育委員の長が委員となりまして、理事には年2回の理事会にも参加してもらっています。

都市社連協では、4月に総会、12月に研究大会を開催しております。また、小金井市は都市社連協の中の第5ブロックに所属しておりますが、ブロックごとの研修会も開催されております。研修会につきましては後ほど議題となっておりますので、そこで説明させていただきます。

5の出向委員につきましては、社会教育委員の会議から図書館協議会、放課後子どもプラン運営委員会にそれぞれ1名ずつ、委員として出向して

もらっています。放課後子どもプラン運営協議会は単年度ごとの任期となっております。今年度は石原委員に参加していただいております。

また図書館協議会委員については、任期がちょうど終了しますので、本日の会議で委員の方を選出していただきたいと思っております。

資料2の裏面に今年度の予定が記載されております。上半分は前期に開催されたものを参考のために記載しております。下半分が第31期、今後の皆さんに関係する会議となります。

日程については後ほど関連する内容の説明がありますので、ここでは除かせていただきます。

資料3は社会教育委員の設置に関する条例、資料4は社会教育委員会議規則という形でお配りしておりますが、こちらは時間があるときに御確認いただければと思います。

説明は以上です。

柴田議長

御説明いただきましてありがとうございました。

皆様方から御質問などありましたら、お願いいたします。

よろしいでしょうか。

では、今御説明いただきました小委員会などの委員につきましては、この後の議題にて皆様と検討したいと思っております。

それでは議題3に移りたいと思っております。

小委員会委員の選出につきまして、こちらも事務局からまずは御説明をお願いいたします。

小堀生涯学習係長 小委員会につきましては、特に決まっているわけではないのですが、これまでの経過としては議長と副議長が入りまして、プラス残り3名の委員の方に加わっていただいた、計5名の方で小委員会という形になっております。年に5回の開催を予定しておりますが、今年度については緊急事態宣言の発出等がありましたので、まだ現在1回だけの開催となっております。残りの4回についても、無理に行わなければいけないというものではありませんので、そのとき行う本会議の内容によって、事前に小委員会を行ったほうがいい場合は会議の前に開催しますし、本会議で話した内容について、もう少し詳細を詰めていったほうが話が進みやすいといった場合に、本会議の後に小委員会を開催して話し合いをしていただいております。

今期につきましては、先ほどお話がありました地域学校協働活動といったものについて、社会教育委員としてどういったことができるかとか、教

育長からお話もありましたけれども、コロナ禍で、またアフターコロナとなった時に、どういう形で社会教育が進めていくのか、そういったところも話し合っていけたらと思いますので、その辺りを踏まえてメンバーの選出をお願いしたいと思います。

以上です。

柴田議長

御説明ありがとうございました。

皆様方から御質問などありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

では早速、小委員会の委員を決めたいと思います。

まずは、毎回議長と副議長は入ることになっておりますので、そのよう
にお願いいたします。

福井副議長

そうですね。

柴田議長

ほかに3名の方に御協力をいただきたいと思っておりますが、立候補される方はいらっしゃいませんか。

福井さん、お願いします。

福井副議長

福井です。前期小委員会5名で担当させていただいて、正副議長以外であと3名なんですけれども、前期の小委員会のメンバーがたまたま2名任期満了で、前期の経過としては柴田、福井、森本委員の3名が現状、前期の委員として今期につながっているということで、できましたら森本委員に継続していただいて、小委員会のメンバーに入っていただければと思います。

あと、皆さんからあと2名、小委員会。先ほど議長から説明があったように、本委員会以外に小委員会及びブロック会議、またそれ以外のいろいろな研修会とかありますけれども、あくまでも本委員会以外は任意の参加ですから、積極的に皆さんで小委員会、あと2名、手を挙げていただければと思います。

以上です。

柴田議長

ただいま福井委員から御推薦がありました。森本委員、よろしいでしょうか。

森本委員 先ほどの副議長さんのお話から、つながっている部分も多々あると思いますので、お引き受けいたします。よろしく申し上げます。

柴田議長 ありがとうございます。森本委員は、日頃からお仕事で小金井市の子どもと関わる機会をたくさん持っていらっしゃると思いますので、適任だと思います。

ほか、あと2名ですが、いかがでしょうか。

先ほど小堀さんから御説明がありましたように、地域学校協働活動について、社会教育委員として何か中心的に関わっていきたいという意欲を持っている方、もちろん全般的に小金井の社会教育について意見をしたいという方も歓迎です。いかがでしょうか。

鈴木委員 鈴木です。質問していいですか。小委員会というのをもう少し詳しく教えてください。

柴田議長 はい。社会教育の会議を行う前に、議題についてある程度詰めて方向性などを話し合ったり、それから、この場だけでは時間が限られておりますので、具体的な方向性を、道筋をつけていくような話し合いをしたり、協議題を具体的に検討したりということを、今まではやっております。補足がありましたらお願いいたします。

小堀生涯学習係長 5人の委員の方と事務局が入って会議を行いますが、日程等については、5人の御都合の合う日で決めさせていただきます。こちらの本会議の補完という形になりますので、基本的にはさきほど柴田議長がおっしゃったように、会議の場では決め切れなかったこととか、あと、今年度は行っていないんですけれども、どこか視察に行きますといったときに、どういう候補地があるかを絞っていったりとか、会議をするための下準備をしたり、打合わせをしたりするものになります。

柴田議長 鈴木委員、いかがでしょうか。

鈴木委員 あ、僕ですか。年に何回ぐらいあるんですか。

小堀生涯学習係長 年に5回を予定しているんですけれども、今年度については、緊急事態宣言が発出されていたことでもありますので、まだ1回しか行われていま

せんが、年度内にあと1回か2回行うかどうかということで考えております、例年は4回か5回くらいは行っております。

鈴木委員 ありがとうございました。あと2回くらいですか。

小堀生涯学習係長 1回もしくは2回ぐらい。

鈴木委員 それで、次はまた、次の年度はまた違う方の5人になるということですか。

小堀生涯学習係長 いえ、期の中では、特別な事情がない限りは同じ委員の方でこの2年間を行います。

福井副議長 福井です。先ほど資料2の中の裏に後半で、今後の31期のスケジュールということで記載されているんですけども、例えば12月(予定)のところ、第6回社会教育委員の会議及び1月20日、三者合同会議の第7回の会議という前に、小委員会で、例えば12月の予定の6回の議題を検討して、そしてこの12月の(予定)のところ、こういう議題を小委員会でまとめて、皆さんに議題として提案しながら審議していただくという進め方が小委員会の在り方です。

今後我々で6回、7回、8回と進めていくんですけども、その準備会という思いで参画していただければいいと思います。

以上です。

鈴木委員 もう一ついいですか。鈴木です。放課後子どもとか、図書館の協議会委員というものもあるんですけども、こういう出向委員と重複することもできるんですか。小委員会をやっていけばこちらの出向委員にはなれないということですか。

小堀生涯学習係長 小委員会委員は社会教育委員の中で割り当てられた役割ですので、両方合わせて社会教育委員という1つの役職となります。

鈴木委員 ということは、社会教育委員から出向する委員と、小委員会の委員は兼ねられるということですね。

小堀生涯学習係長 はい、兼ねられます。

鈴木委員 はい、分かりました。ではお引受けします。

柴田議長 よろしく願いいたします。
ではもうお一人ですけれども、いかがでしょうか。

福井副議長 小委員会自体が準備会という思いで、本会議の12月前に開催するということですから、基本的には11月中旬、下旬ぐらいにやって、第6回の12月につないでいくということを繰り返していきます。ですから当然、平日の時間帯で、この本委員会以外に小委員会に参加できる方が積極的に手を挙げていただいて、もう一名御参加いただければと思います。
北澤さん、どうですか。時間的に。

北澤委員 日程については、平日でも構いませんが、どのくらい選択の幅があるのでしょうか。

柴田議長 日程については、5人の都合が合う時に決定しています。

北澤委員 ほかにどなたもいなければ、担当させていただきます。

柴田議長 では北澤委員、よろしく願いいたします。
では今期の小委員会は、森本委員、鈴木委員、北澤委員、そして福井委員にお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。
次に議題の4に入りたいと思います。
図書館協議会への出向委員の選任についてです。
これも事務局から説明をお願いします。

小堀生涯学習係長 こちらは第17期小金井市図書館協議会委員の推薦についての議題となります。

資料5を御覧ください。小金井市図書館協議会条例をお配りしております。任期は令和3年11月1日から令和5年10月31日の2年間となっております。

委員の身分は非常勤の特別職となっております。小金井市立図書館の適正な運営を図るために、図書館法の第14条の規定に基づいて設置されて

おります。

社会教育委員も兼ねていただくこととなりますので、既に社会教育委員以外の審議会委等をされている場合は委員にはなれませんので、御承知おきください。

第16期の委員として、諏訪委員が図書館協議会委員として会議に参加していただいております。任期の関係でいえば、諏訪委員の継続も可能となっております。

以上です。

柴田議長

ありがとうございます。

現在、諏訪委員に図書館協議会への出向委員をお願いしておりますが、諏訪委員、継続の御意志はいかがでしょうか。

諏訪委員

ほかに御希望の方がいらっしゃらなければ、引き受けます。

柴田議長

ありがとうございます。

皆さんから、図書館協議会をやりたいという方はいらっしゃいますか。

それでは諏訪委員に御継続いただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

諏訪委員

よろしく申し上げます。

柴田議長

次に議題5です。

令和3年度東京都市町村社会教育連絡協議会第5ブロック研修会についてです。

こちらも事務局から説明をお願いいたします。

小堀生涯学習係長 第5ブロック研修会についてですけれども、先ほども説明させていただいたんですけれども、東京都26市3町の社会教育委員が所属しております東京都市町村社会教育連絡協議会、略して都市社連協、こちらは全部で5ブロックに分かれています、ブロックごとに研修会を年1回行っております。

小金井市は武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、狛江市の6市で構成された第5ブロックに入っております。10月から11月にかけて年に1回ブロック研修会を開催しております。今年度は狛江市が第5ブロックの幹事

市となっております。小金井市は昨年度ブロック幹事市だったため、次の幹事市が回ってくるのは5年後になるかと思います。

ブロック研修会についてですけれども、当初は11月に府中で開催される第52回関東甲信越静社会教育研究大会の分科会を各ブロックで担当することになっていたため、ブロック研修会は行われなかった予定でしたが、こちらの分科会が中止となったため、再度ブロック研修会を行うことになったということでした。

そこで資料6を御覧ください。今年度のブロック研修会の案内通知となります。

日時は11月20日土曜日、午後1時半から、会場は狛江市防災センターの4階です。講演会とグループ討議が行われ、講演会は、「就職が思う、コロナ禍における生活様式の変化」をテーマに、張堂興昭氏が講演を行うそうです。

グループ討議は、「新しい生活様式における社会教育の実践」をテーマに行われるということです。

例年、人数制限はありませんが、昨年度の小金井市でも、会場の関係で人数制限をさせていただいておりました、今回の会議についても人数制限があるということで、事務局を除いて5名までの参加となっております。締切りが10月29日になっておりますので、できれば本日の会議で御希望を伺い、幹事市に報告したいと思っております。

またほかの第1から第4ブロック、別のブロックで開催する研修についても、令和元年度から会場等に余裕があれば参加することができるようになりましたので、もし別のブロックからの案内がありましたら、その都度御案内させていただきます。

説明は以上です。

柴田議長 御説明ありがとうございました。

今、出欠を確認したほうがよろしいでしょうか。

小堀生涯学習係長 そうですね。ここで希望を取っていただきたいです。

柴田議長 では、第5ブロック研修会につきまして、出席できるという方、挙手をお願いいたします。

福井委員と森本委員ですね。

福井副議長 福井です。本来なら10名全員、委員の方は、例年だと参加していたんですけども、この御時世のために、各市5名ということで、柴田議長は学校関係の仕事があるということで、柴田議長を除いた9名の方から5名、参加していただければと思います。今現在福井、森本、あと3名の方。事務局はまた別の枠で参加されます。委員として、本来なら10名いつも参加していただいておりますけれども、今期は5名ですから、積極的に御参加いただければと思います。

柴田議長 今もし御予定が分からなければ、後日事務局に御連絡いただくというのでもよろしいでしょうか。

小堀生涯学習係長 福井委員と森本委員が御出席ということで、枠としては、あと3名参加可能ということになりますので、参加できそうだという方がいらっしゃったら、メールとかお電話という形で、できましたら申し込み締め切り日の前日10月28日までに、御連絡いただければと思います。よろしく願いいたします。

柴田議長 どうぞよろしく願いいたします。
では次に、第30期の小金井市社会教育委員の会議のまとめにつきまして議題としたいと思います。こちらにつきましても、事務局より御説明をお願いいたします。

小堀生涯学習係長 資料7を御覧ください。表面につきましては第30期、前期の社会教育委員の会議で検討を行った内容と、「来期の委員の方へ」という、引き継いでいただきたいことが記載されております。内容の説明は後ほど柴田議長からお願いしたいと思います。

裏面につきましては、これまで社会教育委員の会議等から提出された答申・提言等の一覧が載っております。

説明は以上です。

柴田議長 御説明をいただきましてありがとうございました。
資料7を御覧ください。両面印刷になるんですが、前の第30期の会議で行ったことにつきまして、ここに記載しております。

まず1つ目が、第4次小金井市生涯学習計画の策定についてです。

皆さんと議論をしまして、施策の方向といたしまして、「誰もが生涯学習

に親しむ環境づくり」、「地域とともにつくる生涯学習」、「生涯学習のネットワークづくり」という3つを定めました。

この計画策定の際にコロナ禍という事態に陥りまして、オンラインの生涯学習の在り方なども含めて議論を進めました。

テーマが、「学びでつながる笑顔のまち小金井～さあ、動き出そう！人生100年時代～」という基本理念を掲げまして、今後5年間の計画を策定いたしました。

次に第3次小金井市生涯学習計画の評価についてですが、こちらもウィズコロナ下の生涯学習計画の評価というところで、難しい側面もございましたけれども、皆さんと議論をしまして、実情を踏まえた評価方法というところで、実施をいたしました。

次に東京都市町村社会教育連絡協議会の活動についてですが、第30期では、先ほど、今度狛江市である第5ブロックの研修会について話がありましたが、その幹事市が、前年は小金井市だったんですけれども、こちらのブロック研修会の企画と開催をしました。

そちらにも記載されていますが、コロナ禍ではありましたが、江戸糸あやつり人形結城座の結城育子さんを講師に迎えて、「人形劇を通じて、地域の絆をつなぐ」というテーマでの講演、それから操り人形の実演などをしていただき、それから各自治体の社会教育委員の会議の活動内容というものの情報交換を行いました。

次に生涯学習支援センター機能についてですが、こちらは平成25年に三者による提言をしまして、「小金井市生涯学習支援センター機能の実現に向けて」というものが示されました。これは生涯学習支援センターという建物を設置するということではなくて、センター機能をいかに構築するかというところに重点を置いたものです。

ホームページの充実化とか、オンラインを活用した学習機会の多様化ということについて検討しましたが、こちらも今後の継続課題として挙げられています。

次に地域学校協働活動についてですが、こちらは第29期のこの社会教育委員の会議から小金井市教育長に、小金井市での地域学校協働活動の実現に向けてという提言を提出したところです。

その翌年度の令和2年度から、小金井初のコミュニティ・スクール緑小学校での地域学校協働活動が始まりました。黒木先生が校長先生としてこちらに御参加いただいておりますので、いろいろまた情報交換を行いながら進めてまいりたいと思っております。

この地域学校協働活動の推進に向けまして、様々、近隣の自治体の取組などを、視察を行いました。今年度はコロナ禍ということでございましたので、緑小学校の地域コーディネーターの方3名にこの場において、勉強会を行ったところでございます。

ちなみに、本日、配付資料にある三鷹市の全国コミュニティ・スクール研究大会というものですが、こちらはオンラインで誰でも参加できますので、よろしければ御参加ください。第29期、三鷹市の鷹南学園というところの中学校を、この社会教育委員会会議、視察して勉強したという経緯がございます。

三鷹市は全国でもコミュニティ・スクールの先進地域でありまして、小中一貫で、コミュニティ・スクールを進めております。こちらのチラシに、オンラインの開催についての御案内がありますのでご覧ください。

ちょうど、これからの小金井の地域学校協働活動の在り方というところにも関係することもあるかと思えます。

次に、「来期の委員の方へ」という申し送り事項がございます。こちら、そのまま読み上げたいと思えます。

第30期では、第4次の生涯学習推進計画の策定を中心に会議を行いました。今後、第4次の計画を踏まえ、生涯学習の推進に向け検討を進めていただきたいと思えます。

また、小金井市での地域学校協働活動については、今後もさらに実施校が増えていく中で、小金井スタイルを生かした学校と地域の連携をどのように実現できるかについて、社会教育委員の会議として検討を継続し、より具体的な取組について検討していただきたいと思えます。

福井委員、何か補足はございませんでしょうか。

福井副議長

一番下段に書いています「来期の委員の方へ」というのが我々の今期の第31期のテーマで、ここに書いていますとおり、第4次の生涯学習推進計画、5か年計画の中身をもう少し具体化して今期のメンバーで話し合っていきたいというのが1つと、その中の項目の1つとして、ここ3年、地域学校協働活動ということテーマにして話し合っております。したがって、現在、先ほど説明したように黒木委員が参加していただいている緑小学校以外に、昨年度第一小学校、前原小学校、南中学校もスタートしたと聞いていますが、この地域学校協働活動を、小金井市の9小学校5中学校も取り組んでいこうという趣旨で小金井市は動いております。したがって、地域学校協働活動の具体策を提供して、皆さんと一緒によりよい活動を進める

ための、知恵を絞って提供していきたいというのが大きな趣旨ですし、また先ほど大熊教育長がお話しされたように、もう少し具体的に、大人と子どもをつながりということを非常に強調させていただきましたから、ここに書いてありますように、しっかり話し合っていきたいと思います。

以上です。

柴田議長 ほかに、第30期の委員だった方で、何か補足などありましたらお願いいたします。

石原委員は、今年度からコミュニティ・スクールとなった南中学校で活動されていますが、何かありますでしょうか。

石原委員 石原です。今年度から南中学校はコミュニティ・スクールとしてやらせていただいているんですが、小学校と中学校の違いというのがすごくありまして、小学校ではやりやすい部分と中学校だと考えてやっていかなければいけない部分というのが、始めてみて目に見えてきたところがあります。

そういったところも詳しくやっていかないといけないなというのと、始めるに当たって、協議会の委員さんを決めていく中で、協議会の方々はコミュニティ・スクールの現状を知らない方が多くて、コミュニティ・スクールとはというところから校長先生が話していかなければいけないという部分がありますので、そういったところを事前学習とかで、せつかく社会教育委員会で、去年は緑小学校のコーディネーターさんのお話を聞けるということで、そちらにお声をかけさせていただいて、地域、CSに今年から入られた方々をお呼びして聞いていただいたりという、そういった場をもう少しつなげていくといった役割も必要ではないかと感じていますので、今年度はそういったところにも力を入れられたら、来年度以降、CSに入ってくる学校さんはもっとやりやすくなるのではないかと思いますので、皆さんでいい知恵を出していけたらいいのではないかと考えております。

以上です。

柴田議長 ありがとうございます。

コミュニティ・スクールをCSと略して言ったりします。

今、石原委員から現状につきましてお話がありましたように、コミュニティ・スクールとは何かというところが、まだなかなか浸透していないということもあるのではないかとということで、そういったことを社会教育委員の側から理解の浸透というところを進めていくことも、今後の1つの課

題なのかなと思います。

また、コミュニティ・スクールは面倒くさいものなんじゃないかという先入観もあつたりしますので、そういうところも払拭していけたらいいなと思います。

黒木先生、緑小学校で2年目のコミュニティ・スクールとなりましたが、現状ではいかがでしょうか。

黒木委員

緑小学校は昨年度からCSがスタートしているわけですが、昨年度はコロナの影響で、ほとんど活動ができていなかったという現状があります。今年度は10月に入ってから緊急事態宣言解除のタイミングで、ようやく本格的な活動を開始しました。

CSというよりは、どちらかという地域学校支援本部のほうがメインになるかと思うのですが、小金井公園と連携した教育活動を行いました。1・2年生の生活科で、ドングリを集めたりする学習があります。ただ単に小金井公園にドングリを拾いに行くだけではなくて、木の実についての学びであるとか、一緒に付随してくる樹木や昆虫にも目を向けるとか、そういったことをどのように子供たちに学ばせられるか、小金井公園の方々と協力して活動しました。

実際にやってみて思うことは、地域学校支援本部の活動は、地域の人々と学校、CSが相互にコミュニケーションを図る手助けをしてくれます。小金井公園での活動が充実したことは、CSや地域学校支援本部のおかげです。その他、新しい活動も計画しています。

中学校と様子が違うという話もありましたが、緑小学校では、手探りで、とにかくできることから始めています。

柴田議長

ありがとうございます。

ほかに皆様方から、前期の申し送り事項につきまして、何かありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

では、第30期の小金井市社会教育委員の会議のまとめということにつきましては、こちらの用紙にまとめてあるとおりになんですが、この会議の中でも、例えば前期の研修の内容など、そういった議論を踏まえながら決めていきたいと思いますので、今までの研修の資料もそれぞれ御確認いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

次に議題の7に移りたいと思います。

会議録の承認について、事務局よりお願いいたします。

小堀生涯学習係長 会議録の承認ということで、第4回の会議録の承認となりますけれども、既に任期を終了した委員の方もいらっしゃるので、その方たちにも併せて会議録を確認していただいております。

以上です。

柴田議長 ありがとうございます。

では議題の8、その他ですけれども、何かございますでしょうか。

小堀生涯学習係長 よろしいですか。今後の会議の日程についてなんですけれども、資料2の裏面で、今後の日程を書かせていただいているんですけれども、決まっているところとしては、11日の第52回関東甲信越静社会教育研究大会、これはちょっと後で報告事項があります。次に11月20日の第5ブロック研修会、それと12月11日の都市社連協交流大会・全体研修会まで決まっております、あと3回社会教育委員の会議がありますけれども、そのうちの1回、1月20日については、三者合同会議、そちらは公民館が今回主催になりますので、この日程ももう決まっております。こちら確定事項として御承知おきいただければと思うんですけれども、残りの第6回と第8回の会議について、今回、委員の方が新しくなっておりますので、これまで日中をメインに会議を行っていたんですけれども、平日の日中のままでいいのか、もしくは皆さんの御希望で夜のほうがいいのかとか、そういったところを今日話し合っていた中で、それを受けて通常、予定では11月が次の会議だったんですけれども、今日の会議で日程を確認してになりますので、12月に第6回の会議、2月に第8回の会議というのも検討しております。その中で、皆さんがいつの会議の日程だったら都合がいいかというのを、この中で話し合っていただけだと思います。

以上です。

柴田議長 御説明ありがとうございました。

では資料2の裏面の、特に第6回と第8回の社会教育委員の会議の日程をここで決めたいと思います。

今までは平日、特に月曜日が多かったんですが、その時間帯、あるいは夜の開催ということもあります。6時頃から開催という日もありました。皆様方、いかがでしょうか。

会議室の予約というところでは、候補日は幾つかありますか。

小堀生涯学習係長 12月についてはもともとは想定していなかったのですが、これから皆さんの予定をある程度伺った上で、会議室を探します。

福井副議長 福井です。今までは月曜日の午前中が多くて、私は、12月の予定でしたら、皆さんカレンダーをお持ちかと思うんですけども、12月6日月曜日、または13日月曜日、第1候補として6日月曜日、午前中、この801が空いているかどうかということもありまして、空いていない場合は、その日に決定したら夜の6時からということもあるんですけども、今までは極力平日の日中という時間帯で開催をしておりました。

例えば皆さんで月曜日の午前中、今後またスケジュールが決まった後、各個人の動きというのはプラスアルファで考えなければいけないと思うんですけども、今日現在としては、12月6日月曜日午前中ということで、いかがでしょうか。

小堀生涯学習係長 すみません、ちょっと説明がありまして、12月は議会があり、日程によっては、管理職がみんな出られなくなってしまうことがあるので、できたらまず平日がいいか、夜がいいかとか、あとはどうしても、毎週この曜日は絶対駄目ですというのがあったら、そこに当てるのは難しいかなと思うので、その辺りをざっくり決めていただいて、あとは再度調整させていただければと思います。

柴田議長 では、どうしても出られない曜日があるという方は。

北澤委員 すみません、私、仕事の関係で、12月17日から20日は本業の方に出ないといけないので、そこを外していただければ、あとは皆さんで決めていただければと思うんですけども。

柴田議長 ありがとうございます。

鈴木委員 鈴木です。やはり夜のほうが助かります。日中仕事をしているので、午前中という時間よりは夜のほうが助かります。曜日は、特にこの日は駄目というのはありません。

柴田議長 ありがとうございます。
ほかはいかがでしょうか。

富田委員 富田です。私は、できたら午前中がいいです。今までずっと月曜日の午前中だったものですから。夜になると、私、仕事の関係で出られない日があるかもしれないので。

それともう一つ、体協の会議が、今、月に2回あるんですけども、これが夜なものですから、できたら僕は午前中をお願いしたいんですけども。

柴田議長 ほかはいかがでしょうか。
石原委員。

石原委員 すみません、私事ですが、できればこの時間だと保育園に預けて来られるので、できれば平日の昼間であれば動きが取りやすい。ただいままでも6時からとかありましたが、遅れたりとか、預けられれば出ようかなという形なので、もしよろしければということで検討していただければありがたいです。

柴田議長 ありがとうございます。
ほかはいかがでしょうか。鈴木委員、午前中の場合でも調整していただくこともできますか。

鈴木委員 事前に分かっていたら何とかしますけれども。あとは、夜の時間だと、毎回傍聴者はどんな会議でも少ないと思うんですけども、委員の面接のときにも言ったんですけども、社会教育というか、生涯学習をもっと楽しく、普通の人気軽に参加できるようなものであったほうがいいと思うので、会議の内容もできれば聞いていただいたほうがいいと思うんですね。そうすると、月曜日の日中というよりは夕方とか夜の時間帯のほうが、興味のある人が来られるのではないかと思います。
以上です。

柴田議長 ありがとうございます。
そうですね。会議を市民に開くという意味では夜という、お仕事をされている方も傍聴に来ていただけるという考えもあるかもしれませんが、皆さんの御希望ということで、全てを午前中と決めないで、時々夜に開催す

るとか、そのように調整しながら進めていくというのはいかがでしょうか。

小堀生涯学習係長 12月に関しては、今からこの人数が入る会議室を確保するのが難しいかもしれないので、もしかすると逆に夜のほうを取りやすいかもしれません。先ほどの皆さんのお話の中では、平日の日中は都合があったり、逆に日中の方が出席しやすいという意見があったりもするので、柴田議長がおっしゃったように、固定せずに、日中と夜を混ぜて行うという方法もあるかと思います。12月に関しては夜も含めて検討させていただき、なるべく早めに皆さんにお伝えしたいと思いますので、後日連絡させていただきたいと思います。

柴田議長 分かりました。
曜日だけは決めたほうがいいですか。

小堀生涯学習係長 これという曜日がないのであればお任せいただければと思います。

柴田議長 では、12月は夜の開催も含めて、調整していきたいと思います。後ほどメールなどで御連絡をします。2月についても今決めたほうがいいですか。

小堀生涯学習係長 2月はまた別途相談させてください。

柴田議長 では、また2月については次の会議までに決めるということで、メールなどで調整することもありますので、よろしく願いいたします。
では次に、2の報告に入りたいと思います。
報告事項の1、第52回関東甲信越静社会教育研究大会の参加について、事務局より御説明をお願いいたします。

小堀生涯学習係長 第52回関東甲信越静社会教育研究大会の参加についてです。
こちらは締切りの関係で、委員の皆様にはメール、もしくは郵送等で開催要項をお送りして、参加の確認をさせていただいております。
この大会ですけれども、関東甲信越に静岡を加えた1都10県、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、長野、山梨、静岡、この地域の社会教育委員が参加する大会となっております。例年の内容は、基調講演、シンポジウム、分科会となっており、一泊二日で開催されております。

今年度はコロナの関係で1日の開催となりまして、内容は基調講演、トークセッション等になっています。分科会については中止となっております。

小金井市からは、委員の方7名、事務局から2名が出席する予定です。集合時間等は、またメールで御連絡いたします。現地集合になると思いますのでよろしくお願いいたします。

柴田議長 ありがとうございます。

では次に、第36期公民館運営審議会委員の委嘱について、事務局より御説明をお願いいたします。

小堀生涯学習係長 資料9、小金井市公民館運営審議会委員名簿（第36期）をつけさせていただきます。任期は社会教育委員と同じ期間になります。

今後、三者合同会議等で、こちらの委員の方とは顔合わせをする機会もありますので、参考にしていただければと思います。

以上です。

柴田議長 ありがとうございます。

では次その他ですが、何かございますでしょうか。

関生涯学習課長 事務局から。生涯学習課から、今年度の成人式について御報告させていただきます。

今年度、来年1月10日に開催することで準備を進めておりますが、9月30日付で緊急事態宣言が解除されたとはいえ、まだまだ先の長い対応が求められているところから、開催に当たりましては安全策を施して実施してまいります。

やり方なんです、例年は午前と午後の2部制でやっておりましたが、参加者同士の密を避けるということで、3回に分けてやるということです。

場所は例年の宮地楽器ホールの大ホールで行いまして、定員が今通常に戻ってはいますが、感染拡大防止、密を避けるということから半数の定員の中で実施するということから、このたび3部制という形でやらせていただきたいと思っています。

今申し上げたことについては、市のホームページで市民の方に周知しているところでございます。今後安全策を施して、準備を進めて当日を迎えるところでございますが、感染拡大、緊急事態宣言が発出されるなどの場

合、状況によっては、東京都26市の状況を見ながら、開催を中止するということがあるかと思いますが、当日、安全安心に開催するように、現在準備を進めているところでございます。

私からは以上です。

柴田議長

ありがとうございました。

ほかによろしいでしょうか。

では、令和3年度の第5回社会教育委員の会議をこれにて終了としたいと思います。皆様、お疲れさまでした。